

平成28年度季節的就労に係る実態調査集計報告

今冬の雇用保険短期雇用特例一時金受給資格者を対象に、ハローワーク千歳ご協力のもと、「季節的就労に係る実態調査」を実施しました。収集したデータを基に、より実効性の高い通年雇用促進支援事業の策定や、季節労働者の雇用対策に活用することを目的としています。

調査方法は季節労働者の雇用保険短期雇用特例一時金受給手続きの際に、ハローワーク千歳就職担当者から恵庭市内在住の季節労働者にアンケート調査票の配布を行い、失業認定日頭の際にハローワーク千歳失業認定担当者が調査票を回収、恵庭市通年雇用促進協議会が集計・分析を行いました。調査結果は下記のとおりです。

本調査は恵庭市内に在住する雇用保険短期雇用特例一時金の受給資格者を対象に、ハローワーク千歳のご協力を得て恵庭市内在住季節労働者906人を対象に調査を行った。(調査期間:平成28年4月1日～平成29年3月31日)受給認定のためにハローワークを訪れた季節労働者828人に調査用紙を配布して、360人の回答を得ることができた(回答率は43.5%)。併せて本人同意のもと、恵庭市通年雇用促進協議会の季節労働者登録を行った。

調査期間:平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日

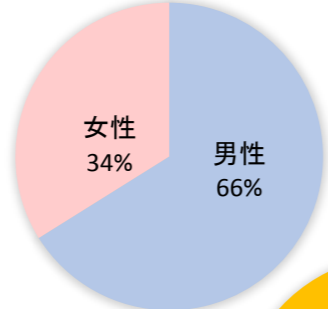
調査対象:恵庭市内に在住する季節労働者906人(平成28年度北海道労働局調べ)に対し、828部の調査票をハローワーク千歳就職相談担当者に配布を依頼した。

1. 平成24年度～28年度の恵庭市在住季節労働者数及び調査回答推移

年度/労働者数	季節労働者数	男性	女性	計	回答率
平成28年度	815	238	122	360	44.2%
平成27年度	906	311	150	461	50.9%
平成26年度	955	313	164	477	49.9%
平成25年度	986	335	154	489	49.6%
平成24年度	1001	354	182	536	53.5%

平成24年度から開始した季節的就労に係る実態調査は平成28年度で5年度目となった。恵庭市在住の季節労働者数も徐々に減少している(表1参照)。主な理由は、通年操業事業所の増加に伴う通年雇用業種への転職(短期就労から一般雇用)、あるいは季節労働者の高齢化による引退の増加などが予測される。

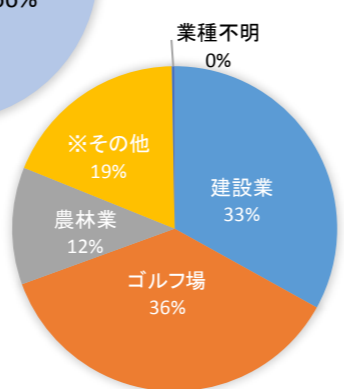
回答者の性別比(図1)



3. 平成28年度回答者の年代別構成

年齢/性別	男性	女性	計
20歳代	5	3	8
30歳代	20	10	30
40歳代	29	30	59
50歳代	36	42	78
60歳～64歳	42	21	63
65歳以上	106	16	122
年代不明	0	0	0
未回答	0	0	0
合計	238	122	360

業種別構成(図2)



※ 男性回答者の年齢構成比較

年度/年齢	20歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	男性計	65歳以上が占める割合
平成28年度	90	42	106	238	44.5%
平成27年度	112	66	133	311	42.8%
平成26年度	141	101	71	313	22.7%

いずれの業種も60歳以上の回答者が約5割を占めており、全体の年代別構成でも51.4%に達する(表2、図5参照)。また男性回答者の年齢構成比較では平成26年度から平成27年度にかけて65歳以上が急増している。平成28年度においては全体的に回答数は減少しているが、65歳以上の男性回答者の協力が多いため年齢構成比較においても44.5%と高い数字になった(表4参照)。少子高齢化による人口減少において、労働市場では高齢者が貴重な人材となっている。

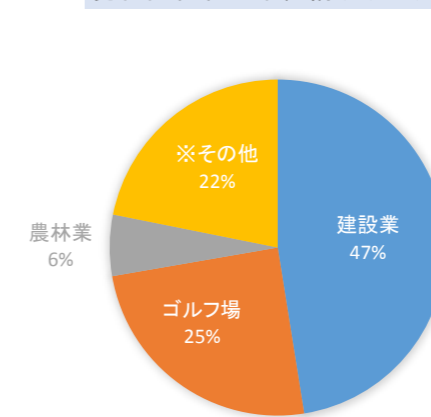
2. 回答者の離職前の勤務先の業種/性別・年代

〈表2〉

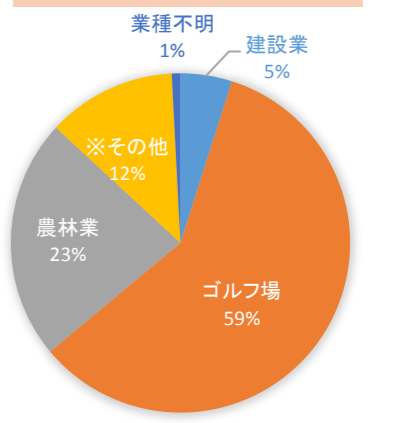
業種/性別	男性	女性	性別不明	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	計
建設業	113	6	0	5	16	23	20	14	41	119
ゴルフ場	59	72	0	3	7	16	36	26	43	131
農林業	14	28	0	0	4	8	10	10	10	42
※その他	52	15	0	0	2	12	12	13	28	67
業種不明	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	238	122	0	8	30	59	78	63	122	360

※その他 業種内訳	男性	女性	計
1 公園管理	9	0	9
2 ゴルフ場以外のサービス業	5	6	11
3 製造業	4	0	4
4 警備業	16	0	16
5 施設管理業	5	0	5
6 運輸・運送業	11	0	11
7 埋蔵文化財発掘作業員	0	0	0
8 販売業	0	7	7
9 保育業	0	1	1
10 バスガイド	0	1	1
11 料金所	1	0	1
12 キャンプ場管理	1	0	1
合計	52	15	67

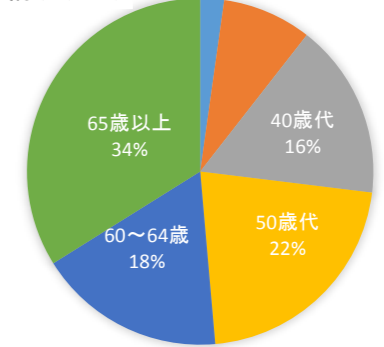
男性回答者の業種構成(図3)

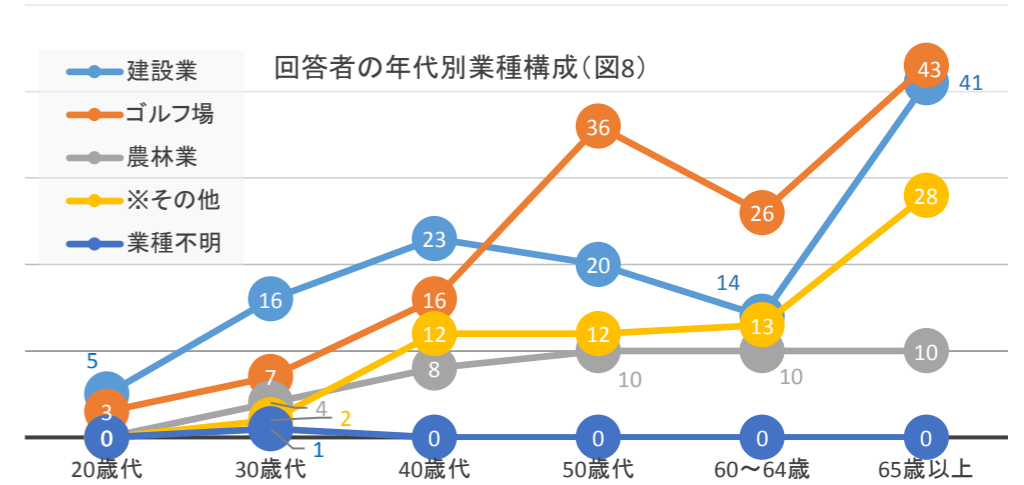
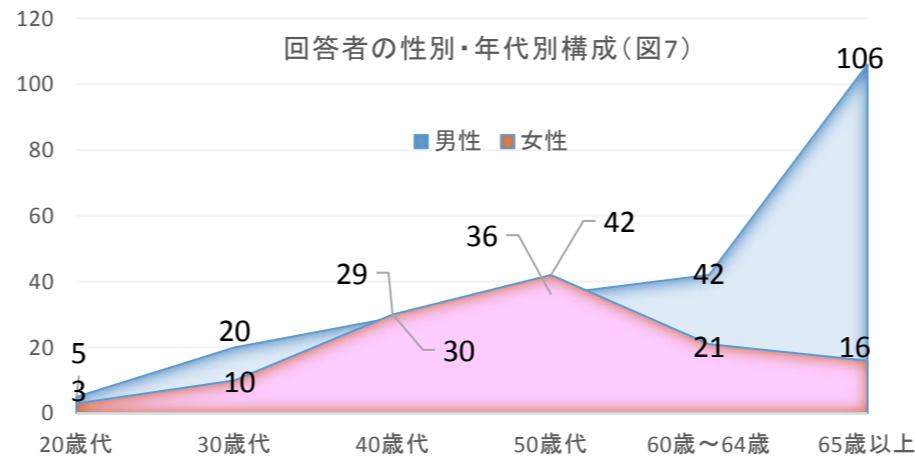
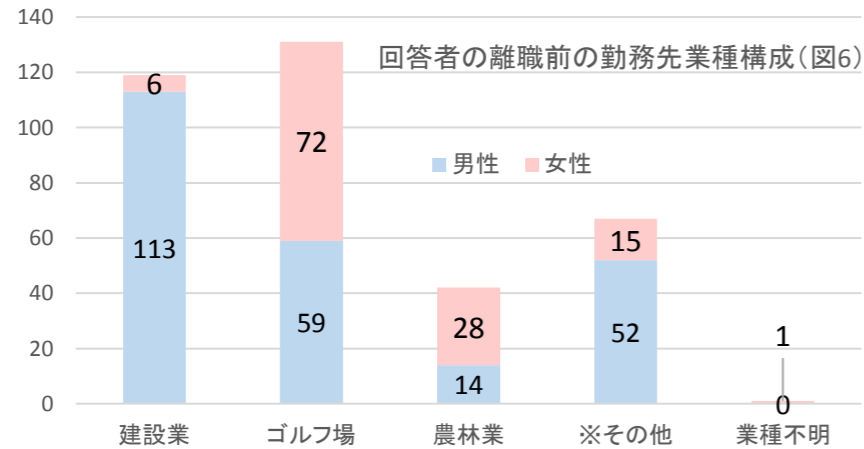


女性回答者の業種構成(図4)



回答者の年代別構成(図5)





4. 回答者の勤務先所在地について

(表5)

勤務地/業種	建設業	ゴルフ場	農林業	※その他	業種不明	計
恵庭市内	78	56	36	36	1	207
千歳市内	15	14	0	21	0	50
北広島市内	4	48	1	3	0	56
札幌市内	12	2	1	3	0	18
その他	9	11	4	4	0	28
勤務地不明	1	0	0	0	0	1
合計	119	131	42	67	1	360

勤務先業種構成:平成28年度の就労実態調査の結果、ゴルフ場従事者が36.4%、次いで建設業が33.1%となり2業種で67.7%を占めている(図2参照)。建設業の回答者に回答を辞退した者が多かったと考えられる。

勤務先業種の性別構成:建設業に従事する回答者のうち95.0%が男性回答者である。ゴルフ場においては男性回答者より女性回答者が若干上回り女性が55.0%を占める結果となった(表2、図6参照)。

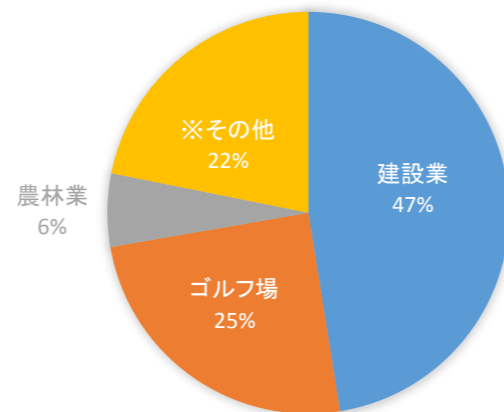
男女の年代別構成:全回答者の66.1%が男性回答者である(図1参照)。年代別構成をみると、40歳~50歳代ではわずかではあるが女性回答者が男性回答者を上回り、65歳以上になると男性回答者が急増する結果となった(図7参照)。

20歳代~30歳代:女性は育児や子育て等、家庭の事情で就労しない(出来ない)時期と考えられる(図7参照)。

50歳代:女性は子育てを終える時期になるため、就労時間の制約が緩和されて比較的働きやすい家庭環境が到来する年代であると考えられる(図7参照)。他方、子供の大学進学などにより、家計の負担を補うために就労する者が多いと考えられる。就業先は主にゴルフ場及び農業である(図10参照)。

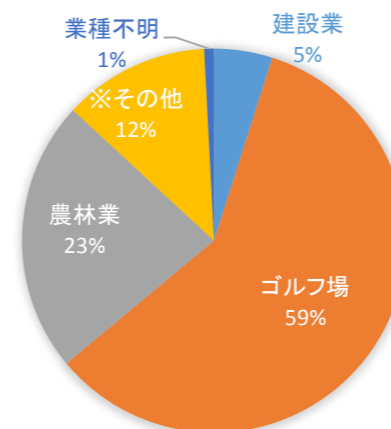
60歳~64歳、65歳以上:平成28年度の男性回答者の65歳以上は平成27年度より減少しているが(表4参照)、平成28年度の回答者年齢構成をグラフに表すと、65歳以上が106人と高い線が描かれた(図7参照)。65歳以上の男性回答者の就労先業種内訳は、建設業・ゴルフ場であった。次いで、その他の勤務先業種として公園管理・警備業・運輸運送・施設管理・製造業・ゴルフ場以外のサービス業との回答結果であった(図8参

男性回答者の離職前勤務先の業種構成(図9)



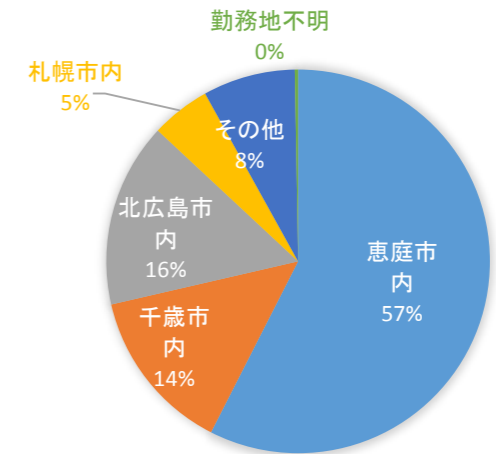
男性季節労働者:勤務業種に分類すると、「建設業47.5%」・「ゴルフ場24.8%」となり、大別すると「建設業」・「ゴルフ場」に分けられ、2業種で72.3%を占めた(図9参照)。

女性回答者の離職前勤務先の業種構成(図10)



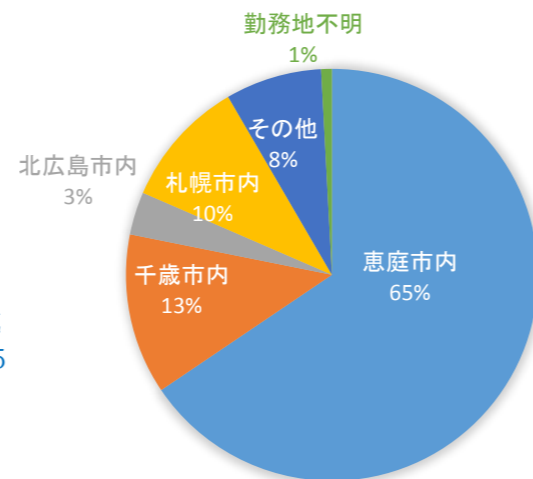
女性季節労働者:勤務業種に分類すると「ゴルフ場59.0%」・「農林業23.0%」に分けられ、大別すると2業種で82.0%を占めた(図10参照)。

回答者の勤務先所在地について(図11)

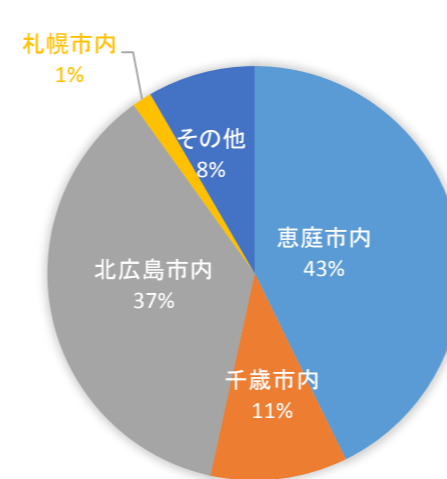


勤務先所在地:恵庭市内が57.5%となった(図11参)。業種別では、下記の図12~図15の結果となった。ゴルフ場においては北広島市内と千歳市内を併せると恵庭市内を上回る結果となった(図13参照)。その他の勤務先所在地の内訳は、安平町・厚真町・苫小牧市・長沼町・由仁町・江別市等の回答であった。

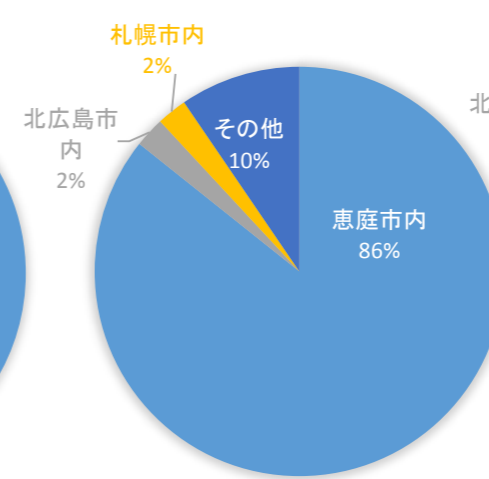
建設業(図12)



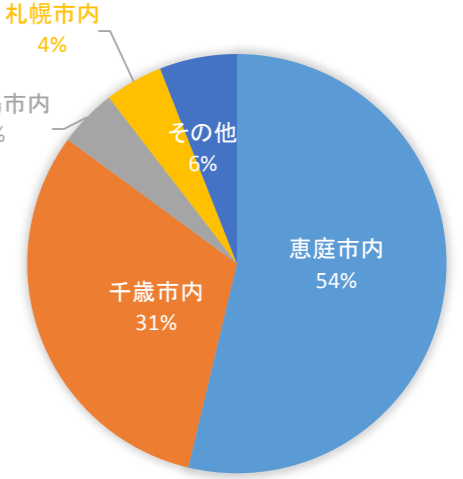
ゴルフ場(図13)



農林業(図14)



※その他業種(図15)



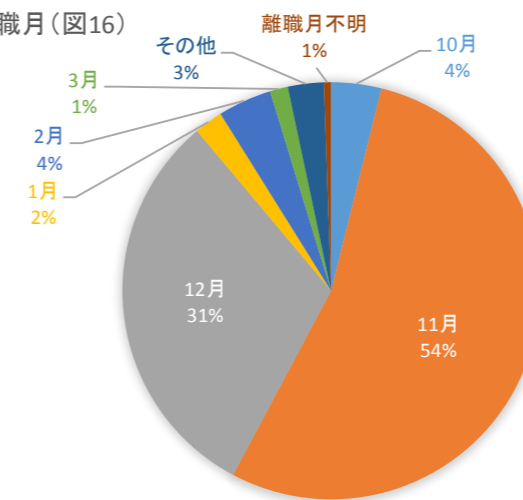
5. 業種別の離職月

〈表 6〉

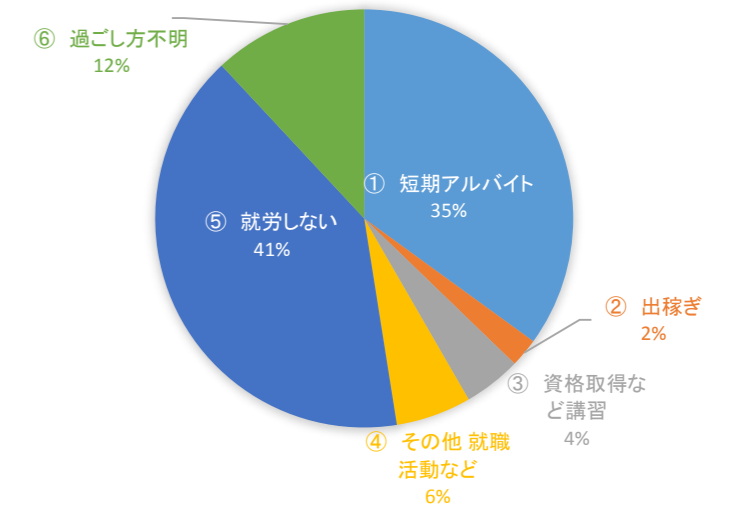
業種/離職月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	その他	離職月不明	計
建設業	1	11	92	3	6	5	0	1	119
ゴルフ場	5	123	3	0	0	0	0	0	131
農林業	7	23	6	2	1	0	3	0	42
その他業種	1	36	11	3	8	0	7	1	67
業種不明	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	14	194	112	8	15	5	10	2	360

離職月と業種:11月は123名で回答者全体の53.9%を占めており主にゴルフ場従事者であった。12月は31.1%で主に一部の建設業従事者が離職を迎えた。その他、5月は施設管理業・6月は運輸運送業・7月～8月は農業従事者との回答結果であった(表6、図16参照)。

回答者の離職月(図16)



冬期間の過ごし方 男女計(図17)



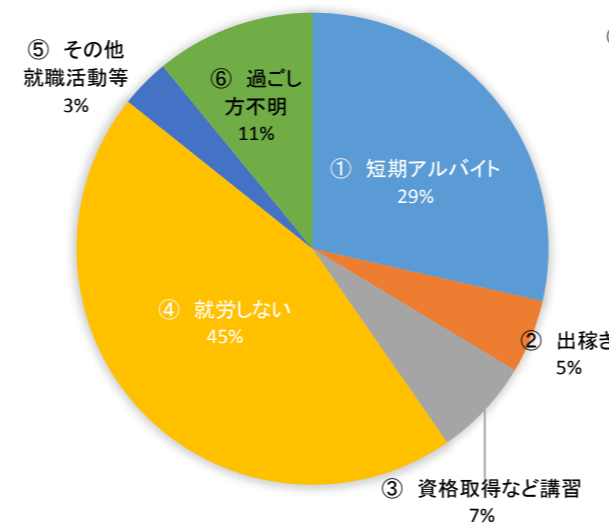
6. 回答者の離職前の勤務業種と冬期間の就労先

〈表 7〉

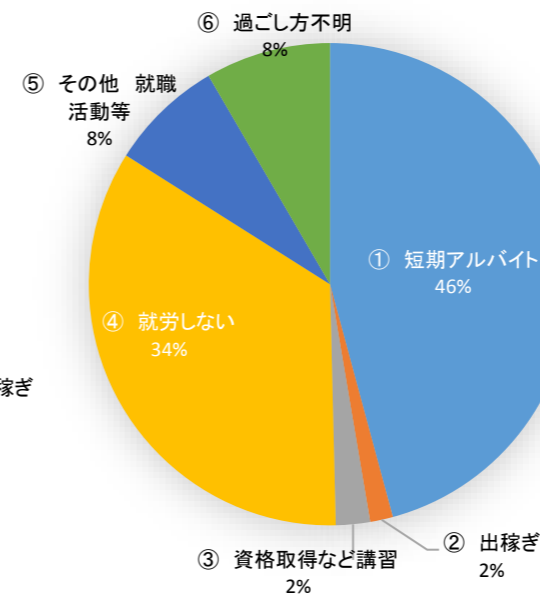
冬期勤務業種他/離職前業種	建設業	ゴルフ場	農林業	※その他	業種不明	計
食品製造業	0	20	2	1	0	23
製造業(食品以外)	1	3	0	1	0	5
建設業(アルバイト)	20	2	1	0	0	23
除雪作業	11	10	2	5	0	28
物流・運送業	0	7	2	4	0	13
介護サービス事業	0	1	0	0	0	1
小売業	0	4	0	2	0	6
その他 冬期勤務先業種	2	13	3	9	0	27
① 短期アルバイト 合計	34	60	10	22	0	126
製造業(食品以外)	1	0	0	0	0	1
建設業(アルバイト)	4	0	0	0	0	4
その他 冬期出稼ぎ先業種	1	2	0	0	0	3
② 出稼ぎ 合計	6	2	0	0	0	8
③ 資格取得など講習	8	3	3	2	0	16
④ 就労しない	54	45	19	28	0	146
⑤ その他 就職活動等	4	10	1	6	0	21
⑥ 過ごし方不明	13	11	9	9	1	43
①～⑥ 合計	119	131	42	67	1	360

冬期間の過ごし方と就労先業種:ゴルフ場を離職した女性回答者は主に食品製造業を冬期間の就労先としており、大半は毎年同じ企業を就労先としている。一方、建設業を離職した男性回答者は、離職後も建設業でアルバイトをする傾向が強い(表7参照)。

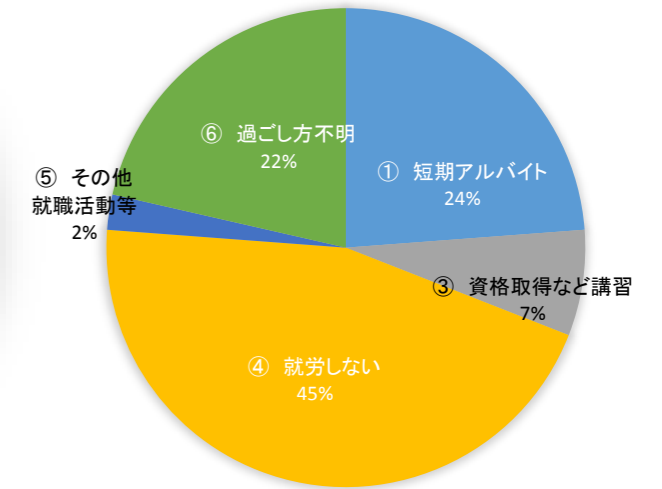
建設業(図18)



ゴルフ場(図19)



農林業(図20)



冬期間の過ごし方:回答者360人中、①短期アルバイトと②出稼ぎを合計すると134人(37.2%)が冬期間は就労すると回答した(図17参照)。また、冬期間は出稼ぎによる就労8人のうち、女性2人はゴルフ場(道外)に従事すると回答した(表7参照)。一方、就労しないと回答した146人が全体の40.6%を占めたことについて、高齢季節労働者の回答が多いこともポイントを下げる要因と思われる(表8、参照)。

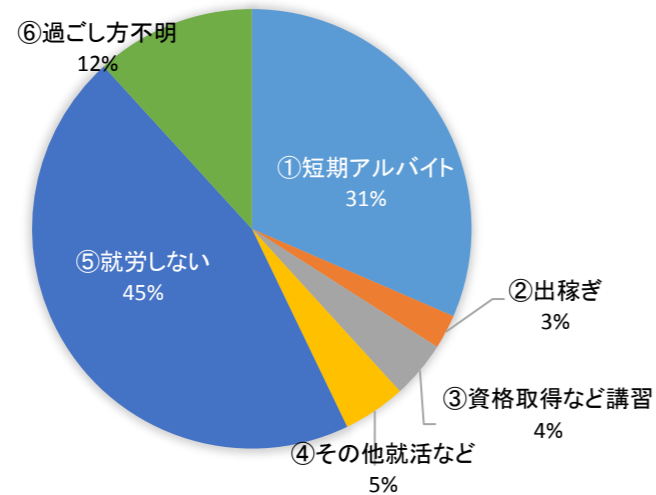
冬期間の過ごし方・資格取得など講習:就労調査票で資格取得など講習に通う(表7)と回答した中には、工事終了後の3月中旬に協議会の無料講習を利用して、技能の向上に取り組んだ季節労働者が多数いた。調査回答を参考にして回答者には直接的なアプローチを実践している。しかし近年、建設業においては降雪事情などが工事の進捗状況に大きく影響するために、希望する講習が定員になる、日程が合わない等の理由で受講に繋がらない課題があった。平成28年度は早期予約申し込み形式を取り入れ、その結果3月に技能講習修了者が集中したが、トラブルも無く申込者全員が希望する技能講習を修了することができた。

7. 離職後の過ごし方について 性別・年代

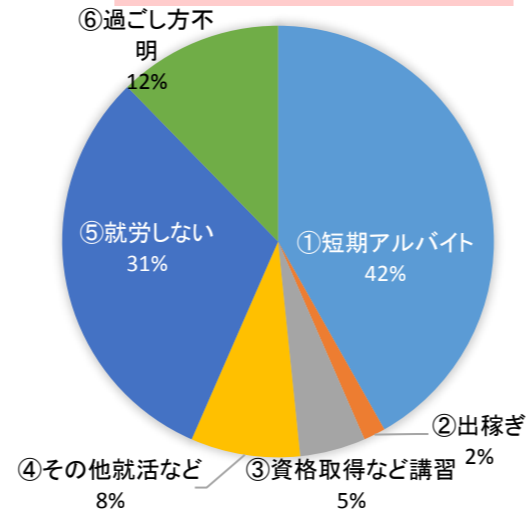
〈表 8〉

離職後の過ごし方/性別・年代	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	計
① 短期アルバイト	75	51	3	9	26	38	17	33	126
② 出稼ぎ	6	2	1	0	4	1	0	2	8
③ 資格取得など講習	10	6	1	5	4	2	4	0	16
④ その他 就職活動など	11	10	0	1	4	7	2	7	21
⑤ 就労しない	108	38	3	10	17	24	29	63	146
⑥ 過ごし方不明	28	15	0	5	4	6	11	17	43
①～⑥ 合計	238	122	8	30	59	78	63	122	360

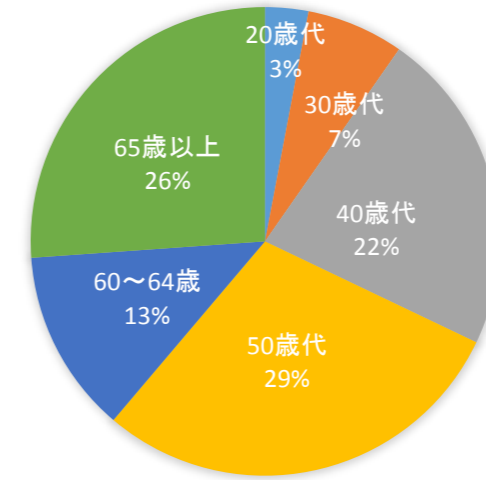
男性の離職後の過ごし方(図22)



女性の離職後の過ごし方(図23)



①短期アルバイト②出稼ぎをする年代別構成(図21)



離職後の過ごし方【年代別】:短期アルバイトと出稼ぎの合計を年代別構成で比較すると50歳代は39人(29.1%)、次いで65歳以上が35人(26.1%)との結果となった(図21参照)。

離職後の過ごし方【性別】:短期アルバイト就労と出稼ぎをすると回答した者は134人になった。性別で比較すると男性が75人(56.0%)、女性は51人(38.1%)であった。一方就労しないと回答した146人中、男性は108人(74.0%)、女性は38人(26.0%)であった(表8参照)。

8. 離職後の短期アルバイト及び出稼ぎの勤務先業種/性別・年代

〈表 9〉

離職後の冬期間就労先業種/性別・年代	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	計
食品製造業	2	21	1	2	7	8	2	3	23
製造業(食品以外)	2	3	0	0	0	2	1	2	5
建設業(アルバイト)	21	2	1	2	6	5	2	7	23
除雪作業	27	1	1	1	3	7	5	11	28
物流・運送業	8	5	0	1	2	4	4	2	13
介護サービス事業	0	1	0	0	0	1	0	0	1
小売業	2	4	0	1	1	3	1	0	6
その他 冬期勤務先業種	13	14	0	2	7	8	2	8	27
① 短期アルバイト 合計	75	51	3	9	26	38	17	33	126
製造業(食品以外)	1	0	1	0	1	0	0	0	2
建設業(アルバイト)	4	0	0	0	2	0	0	2	4
その他 出稼ぎ業種	1	2	0	0	1	1	0	0	2
② 出稼ぎ	6	2	1	0	4	1	0	2	8
①② 合計	81	53	4	9	30	39	17	35	134

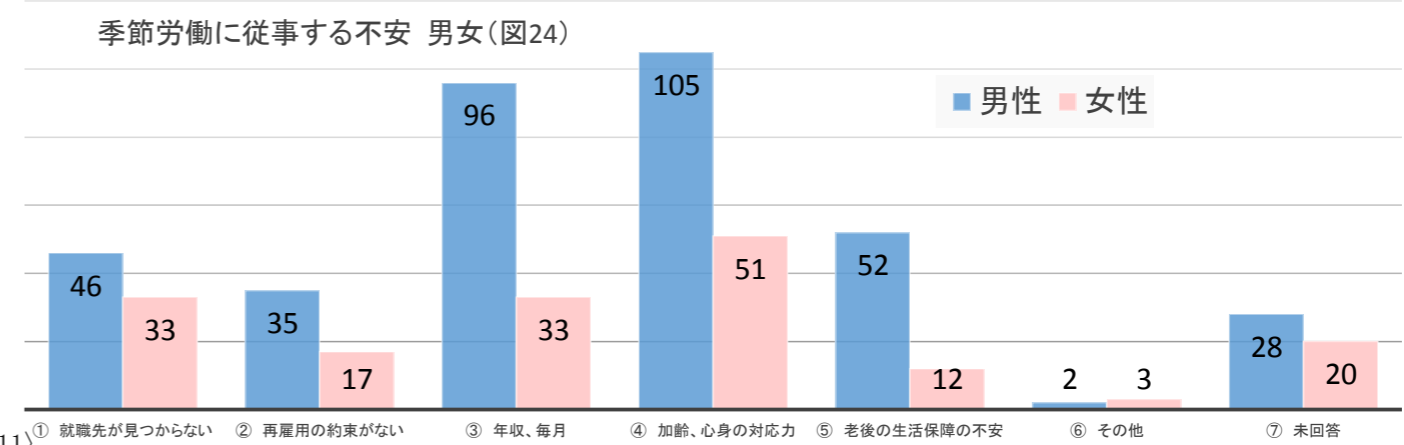
離職後の過ごし方【男性】:男性回答者238人中、短期アルバイトと出稼ぎをすると回答した者は81人であり、男性回答者の34.0%にすぎない(図22参照)。一方就労しない者は108人であり、このうち60歳以上が92人(85.2%)に及ぶ結果となった。

離職後の過ごし方【女性】:女性回答者122人中、53人(43.4%)が短期アルバイトと出稼ぎをすると回答した(図23参照)。一方就労しないと回答した38人(31.1%)であり、冬期間の短期就労先については女性が働きやすい業種が多いと考えられる。

離職後の冬期間就労業種:左表9のとおり、男性の就労先業種は主に建設業と除雪作業であり、回答者の多くがこれらをかけ持ちして冬期間の就労にしているとの補足説明が目立った。女性は食品製造業とその他業種(販売業が主な就労先)との結果であった。

9. 回答者による季節労働に従事する不安 性別/業種別【複数回答】 ※表の数字は回答実数 <表10>

季節に従事する不安/性別・業種	男性	女性	建設業	ゴルフ場	農林業	※その他	業種不明	計
① 離職期間中の就職先が見つからない	46	33	26	26	7	19	1	79
② 次年度の採用について再雇用の約束がない	35	17	15	18	4	15	0	52
③ 年収の少ない、毎月の収入が不安定	96	33	59	39	12	19	0	129
④ 加齢など、心身の対応力の低下	105	51	43	61	20	32	0	156
⑤ 健康保険・年金受給など老後の生活保障の不安	52	12	33	13	7	11	0	64
⑥ その他	2	3	0	3	1	1	0	5
⑦ 季節に従事する不安未回答	28	20	13	19	5	11	0	48

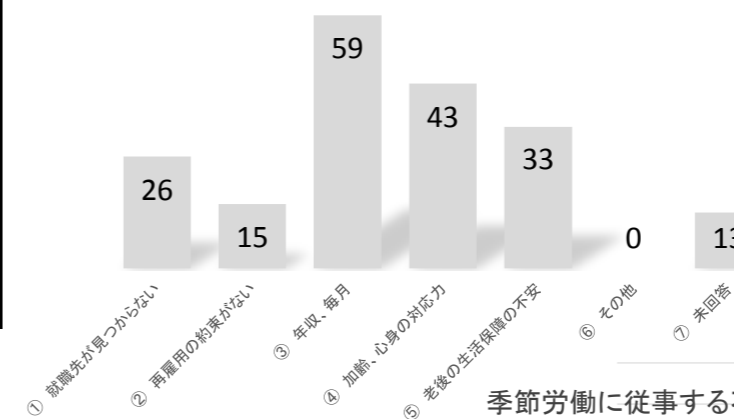


10. 回答者による季節労働に従事する不安 性別・年代別【複数回答】 ※表の数字は回答実数 <表11>

季節に従事する不安/性別・年代	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	65歳以上	計
① 離職期間中の就職先が見つからない	46	33	1	9	20	18	15	16	79
② 次年度の採用について再雇用の約束がない	35	17	0	5	8	13	6	20	52
③ 年収の少ない、毎月の収入が不安定	96	33	6	15	29	37	20	22	129
④ 加齢など、心身の対応力の低下	105	51	1	1	14	38	37	65	156
⑤ 健康保険・年金受給など老後の生活保障の不安	52	12	1	7	16	15	8	17	64
⑥ その他	2	3	0	1	1	2	0	1	5
⑦ 季節に従事する不安未回答	28	20	1	4	7	7	8	21	48

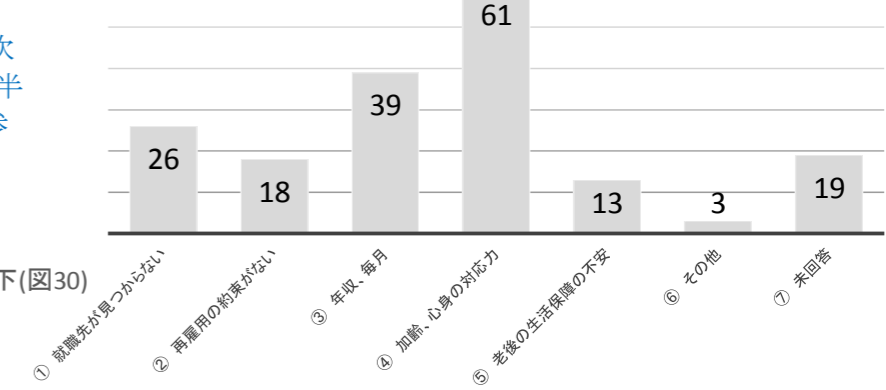
① 就職先が見つからない ② 再雇用の約束がない ③ 年収、毎月 ④ 加齢、心身の対応力 ⑤ 老後の生活保障の不安 ⑥ その他 ⑦ 未回答

季節労働に従事する不安 建設業(図25)



季節労働に従事する不安【性別】:「男性回答者」238人中105人(44.1%)が④加齢など、心身の対応力の低下と回答した。次いで96人(40.3%)が③収入に対する不安と回答した(表10、図24参照)。「女性回答者」122人中51人(41.8%)が④加齢など、心身の対応力の低下と回答した。また①離職期間中の就職先が見つからない、②収入に対する不安はそれぞれ33人(27.0%)が回答した。企業側は人材不足と言われているが、有期雇用の季節労働者にとっては厳しい現状であると思われる。

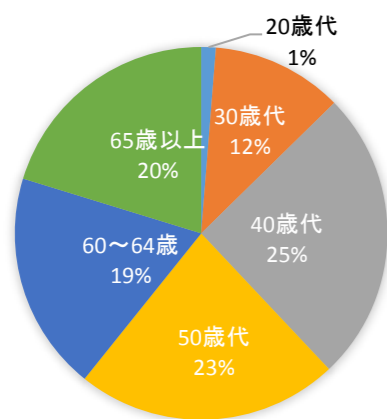
季節労働に従事する不安 ゴルフ場(図26)



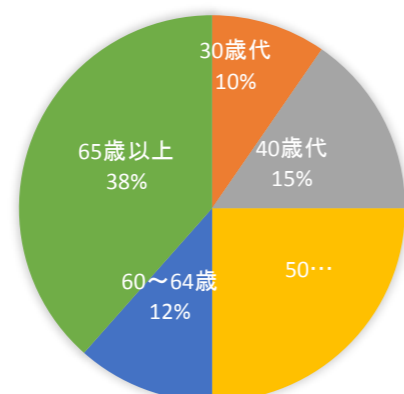
季節労働に従事する不安【業種比較】:建設業では回答者119人中59人(49.6%)が③収入面に不安を抱えている。回答者の殆どが男性であり収入が主たる生計であることの結果であると考えられる(図25参照)。ゴルフ場では131人中61人(46.6%)が④年齢と体力面が不安と回答した。回答者に女性が多く、また従事する男性に高齢者が多いことが結果に反映していると考えられる(図26参照)。

季節に従事する不安 年代別比較 図28~31:①離職期間中の就職先が見つからないのと回答は、各年代構成比率には大きな差はみられなかった(図27参照)。②次年度の採用について再雇用契約の約束がないと回答した65歳以上が4割弱を占める結果となった(図28参照)。③年収・収入の不安定においては40歳代~50歳代で半数を占めており、子供を持つ親にとって教育費など家計費がかさむ年代と考えられる(図29参照)。④加齢・健康面を不安視する年代は50歳代から急増している(図30参照)。

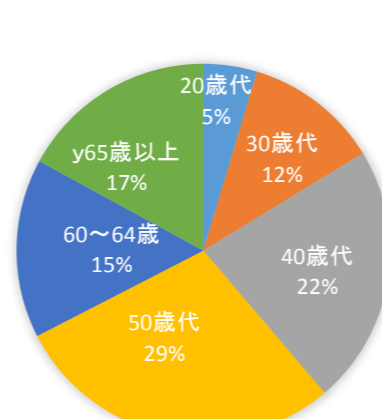
① 離職期間中の就職先が見つからない(図27)



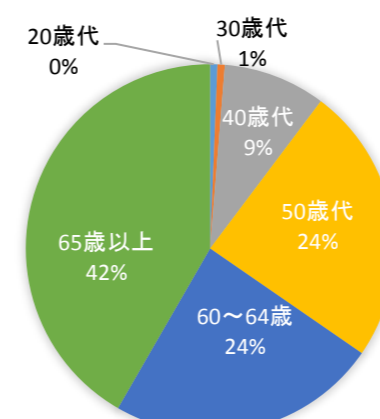
② 次年度の採用について再雇用の約束がない(図28)



③ 年収の少ない、毎月の収入が不安定(図29)



④ 加齢など、心身の対応力の低下(図30)



11. 通年雇用勤務希望の有無について 性別・年代別

〈表12〉

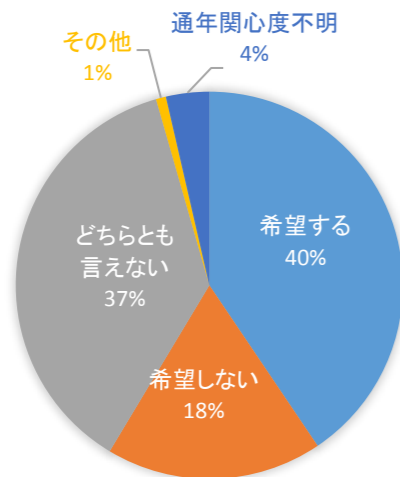
通年関心度/性別・年代	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	計
希望する	115	31	3	19	33	29	21	41	146
希望しない	37	28	0	1	4	16	10	34	65
どちらとも言えない	77	56	4	8	21	31	29	40	133
その他	2	1	0	0	0	0	1	2	3
通年関心度不明	7	6	1	2	1	2	2	5	13
全体	238	122	8	30	59	78	63	122	360

12. 通年雇用勤務希望の有無について 性別・業種別

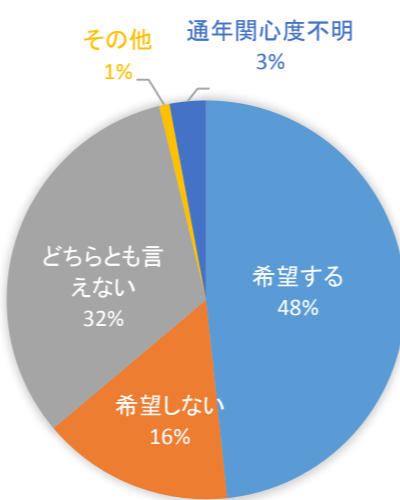
〈表13〉

通年関心度/性別・業種	建設業	ゴルフ場	農林業	※その他	業種不明	合計
希望する	59	35	17	34	1	146
希望しない	15	32	7	11	0	65
どちらとも言えない	39	57	18	19	0	133
その他	1	1	0	1	0	3
通年関心度不明	5	6	0	2	0	13
全体	119	131	42	67	1	360

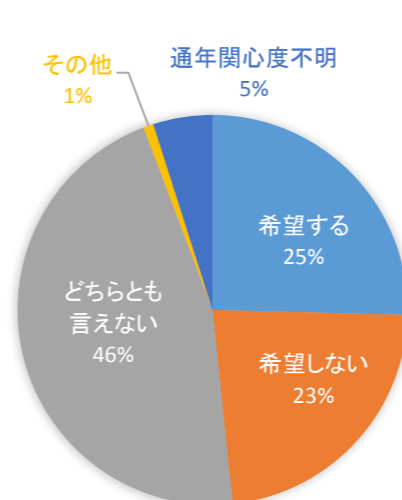
通年雇用への関心度 男女計(図31)



通年雇用への関心度 男性(図32)



通年雇用への関心度 女性(図33)

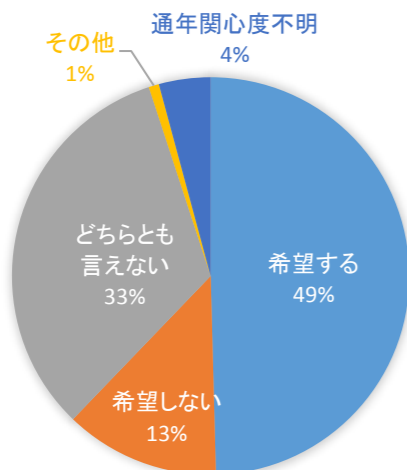


通年雇用勤務希望の有無について:360人中、男女146人(40.6%)が通年雇用を希望すると回答した(表12、図31参照)。

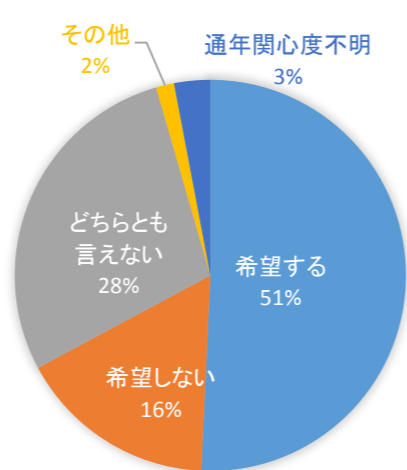
通年雇用勤務希望の有無【男性】:男性回答者238人中115人(48.3%)が通年雇用を希望すると回答した(表12、図32参照)。

通年雇用勤務希望の有無【女性】:女性回答者122人中通年雇用を希望すると回答したのは31人(25.4%)であり、どちらとも言えないが56人45.9%の結果となった(表12、図33参照)。

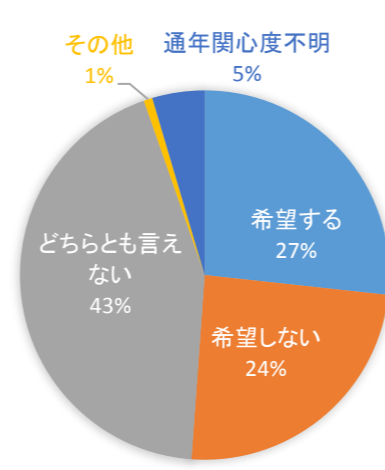
通年雇用への関心度 建設業(図34)



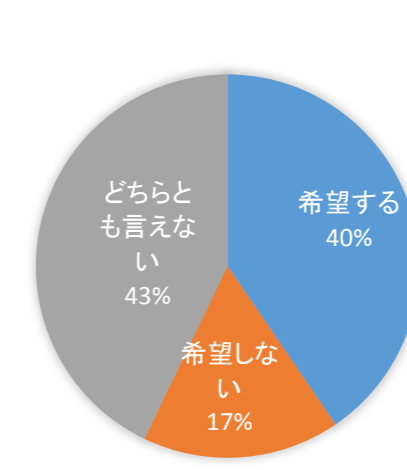
通年雇用への関心度 ※その他(図35)



通年雇用への関心度 ゴルフ場(図36)



通年雇用への関心度 農林業(図37)



通年雇用勤務希望の関心度/業種別比較【建設業・※その他】:建設業(図34)、その他(図35)はいずれも男性労働者の比率が多い業種である。男性は一般的に収入が主たる生計となることから、家計を支えるために通年雇用を希望すると回答した比率が高いと考えられる(表13参照)。

通年雇用勤務希望の関心度/業種別比較【ゴルフ場】:回答した131人のうち男性は59人(45.0%)、また女性の方が多く72人(55.0%)であった。年齢構成では男女の65歳以上が43人(32.8%)との結果であった(表12参照)。男性回答者は通年雇用経験者が多い事もあり、また女性はシングルマザー等の主たる生計者が「通年雇用を希望する」を回答したと思われる。一方、「どちらとも言えない」と回答したのは131人中57人(43.5%)を占め、女性従事者の多くは家計の副収入に充当するための就労者が多いと考えられる(図36参照)。

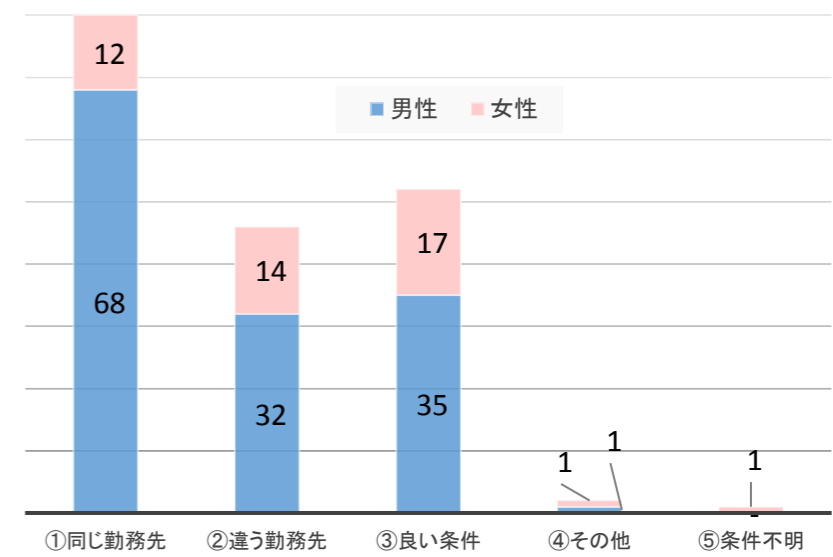
通年雇用勤務希望の関心度/業種別比較【農林業】:農林業に従事する回答者42人中男性は14人、女性は28人であった。回答者数は少ないが従事者の30人(71.4%)が50歳以上であった。農林業従事者は性別・年齢に関係なく、回答者の40.5%が通年雇用を希望すると回答した(図37参照)。

13. 通年雇用を希望する条件 性別・年代別【複数回答】 ※表の数字は回答実数 (表14)

条件/性別・年代	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	合計
① 同じ勤務先・同じ職種で希望する	68	12	2	10	16	16	12	24	80
② 違う勤務先・同じ職種でも構わない	32	14	2	6	11	12	6	9	46
③ 異業種への転職・良い条件の職場	35	17	0	8	16	11	4	13	52
④ その他	1	1	0	0	0	1	1	0	2
⑤ 通年条件不明	0	1	0	0	0	1	0	0	1

通年雇用を希望する条件【年代別】: 通年雇用を希望する条件には360人中151人が回答をした。①同じ勤務先・同じ職場を希望するは151人中80人(53.0%)であった。このうち60歳以上が36人(45.0%)であり、次いで③異業種への転職は151人中52人(23.8%)であった。転職については40～50歳代で27人(51.9%)を占めた(表14参照)。

通年雇用を希望する条件【性別毎】(図38)



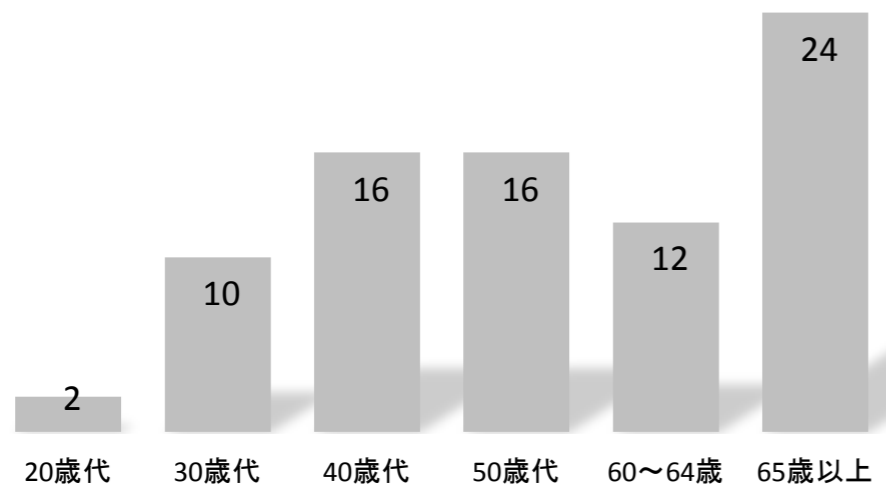
14. 通年雇用を希望しない理由 性別・年代別【複数回答】 ※表の数字は回答実数 (表15)

理由/性別・年代	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	合計
① 慣れ親しんだ会社だからこのままで良い	52	48	0	7	11	23	22	37	100
② 働けることに満足している	49	30	1	0	5	23	22	28	79
③ 希望する職種が季節労働者に限られるため	16	11	1	2	6	6	6	6	27
④ 昇進・転勤・ルマ等、会社にしばられたくない	13	3	0	2	1	4	6	3	16
⑤ 通年雇用勤務より収入が高い	3	12	1	1	6	4	3	0	15
⑥ 扶養の範囲内で調整	2	6	0	1	1	4	1	1	8
⑦ 年齢的に、体調に自信がない	35	12	0	0	1	9	11	26	47
⑧ 育児や介護など、身のまわりの世話	1	4	0	1	3	0	1	0	5
⑨ 離職中は自分の時間を大切にしたい	11	9	0	1	1	3	4	11	20
⑩ その他	1	3	1	0	0	1	0	2	4
⑪ 理由不明	5	3	0	0	1	1	0	6	8

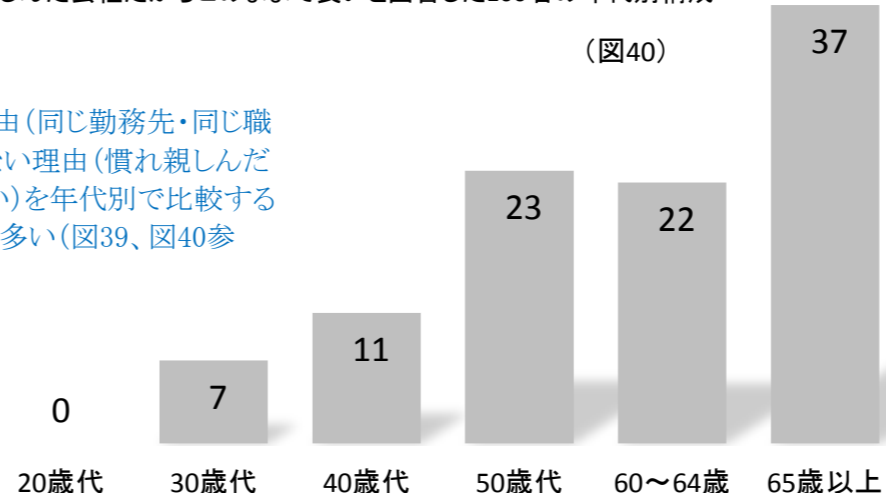
通年雇用を希望する条件【男性】: 通年雇用を希望する条件に回答した男性は238人中117人(49.2%)である。117人中①同じ勤務先・同じ職場を希望するは68人(58.1%)であった。建設業従事者が多いため、転職や他の事業所を敬遠する傾向が見てとれる(表14、図38参照)。

通年雇用を希望しない理由: 男女回答者360人中196人(54.4%)がこの質問に回答した。回答者は複数項目に回答していることから、表15は回答実数を表示している。①慣れ親しんだ会社だからこのままで良いが100人(51.0%)、②働けることに満足しているが79人(40.3%)、⑦年齢的、体調面に自信がない47人(24.0%)であった。その他の理由は表15の結果であった。季節労働者の高齢化がこの様な結果を導いたと考えられる(表15、図40参照)。また、次ページ表17の業種別比較で⑤通年雇用勤務より収入が高いと回答した15人のうち13人がゴルフ場に従事する女性回答者であった。女性(主に主婦)が就労する業種の中で、働き慣れた場所で、高収入が得られることが働き甲斐に繋がり、長年に亘って季節労働が続けられる要因であると考えられる。

同じ勤務先・同じ職種で通年雇用を希望する80名の年代別構成(図39)



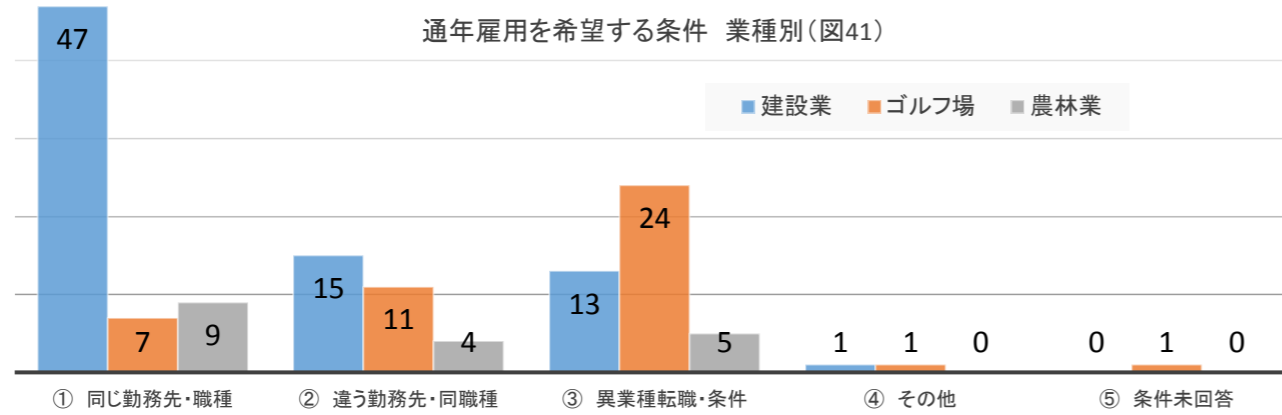
慣れ親しんだ会社だからこのままで良いと回答した100名の年代別構成 (図40)



通年雇用を希望する理由(同じ勤務先・同じ職場)、通年雇用を希望しない理由(慣れ親しんだ会社だからこのままで良い)を年代別で比較すると、65歳以上の回答者が多い(図39、図40参照)。

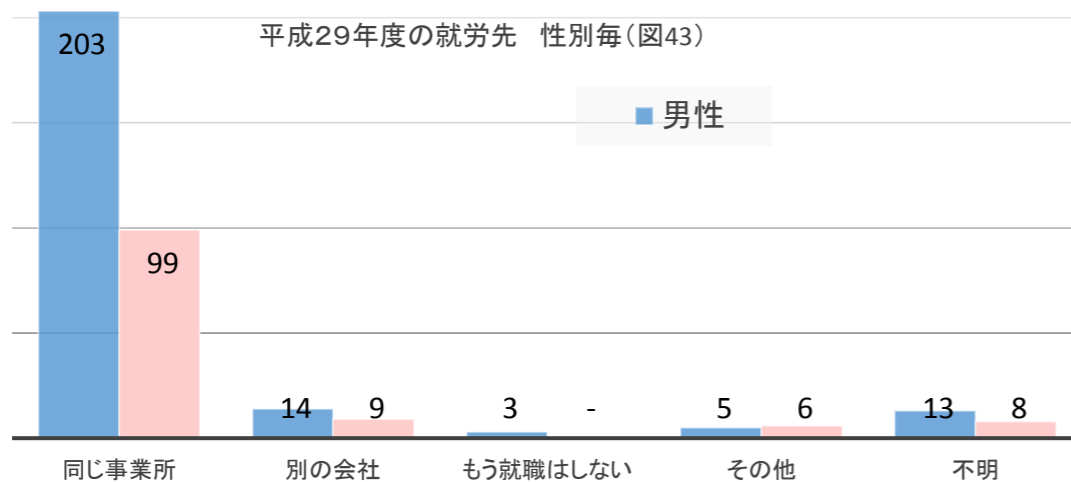
15. 通年雇用を希望する条件 性別・業種【複数回答】 ※表の数字は回答実数 (表16)

条件/性別・業種	男性	女性	建設業	ゴルフ場	農林業	※その他	業種不明	計
① 同じ勤務先・同じ職種で希望	68	12	47	7	9	17	0	80
② 違う勤務先・同じ職種でも構わない	32	14	15	11	4	15	1	46
③ 異業種への転職・良い条件の職場	35	17	13	24	5	9	1	52
④ その他	1	1	1	1	0	0	0	2
⑤ 条件未回答	0	1	0	1	0	0	0	1



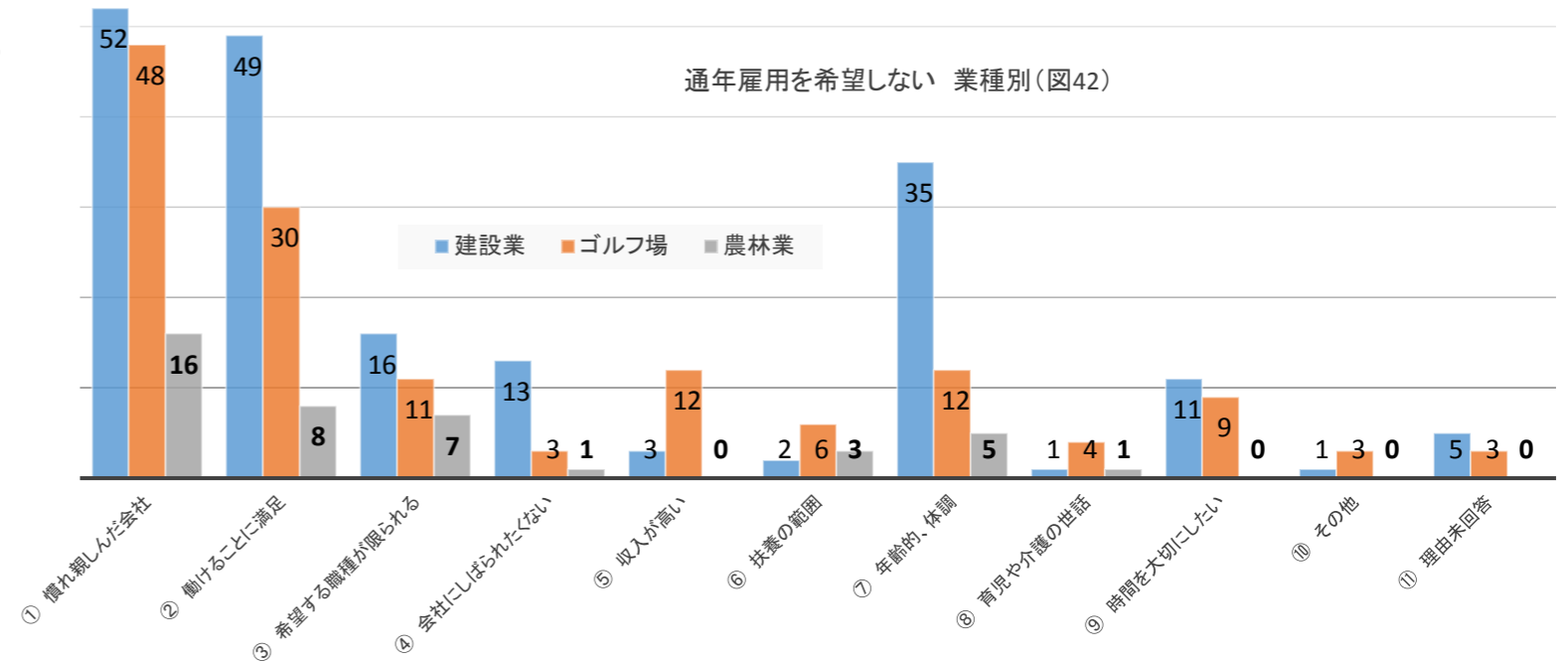
17. 平成29年度の就業先/性別・年代 (表18)

H29就職先/性別・業種	男性	女性	建設業	ゴルフ場	農林業	※その他	業種不明	合計
同じ事業所	203	99	105	107	36	54	0	302
別の会社	14	9	6	10	3	3	1	23
もう就職はしない	3	0	0	1	1	1	0	3
その他	5	6	3	5	1	2	0	11
平成29年度就業先不明	13	8	5	8	1	7	0	21
全体	238	122	119	131	42	67	1	360



16. 通年雇用を希望しない理由 性別・業種【複数回答】 ※表の数字は回答実数 (表17)

理由/性別・業種	男性	女性	建設業	ゴルフ場	農林業	※その他	計
① 慣れ親しんだ会社だからこのままで良い	52	48	24	45	16	15	100
② 働けることに満足している	49	30	23	38	8	10	79
③ 希望する職種が季節労働者に限られるため	16	11	6	11	7	3	27
④ 昇進・転勤・ノルマ等、会社にしばられたくない	13	3	6	9	1	0	16
⑤ 通年雇用勤務より収入が高い	3	12	2	13	0	0	15
⑥ 扶養の範囲内で調整	2	6	3	2	3	0	8
⑦ 年齢的に、体調に自信がない	35	12	16	18	5	8	47
⑧ 育児や介護など、身のまわりの世話	1	4	1	2	1	1	5
⑨ 退職中は自分の時間を大切にしたい	11	9	3	15	0	2	20
⑩ その他	1	3	0	3	0	1	4
⑪ 理由未回答	5	3	0	6	0	2	8



18. 平成29年度の就業先/年代別・業種 (表19)

H29就職先/性別・年代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	65歳以上	年代不明	合計
同じ事業所	7	23	46	68	55	103	0	302
別の会社	0	4	7	6	1	5	0	23
もう就職はしない	0	0	0	0	0	3	0	3
その他	0	2	4	1	2	2	0	11
平成29年度就業先不明	1	1	2	3	5	9	0	21
全体	8	30	59	78	63	122	0	360

平成29年度の就業先 年代別: 同じ事業所に就労をすると回答した302人中60歳以上が158人(52.8%)と半数以上を占める(表19参照)。熟練した仕事で高齢労働者が活躍する一方で、若年層の技術・技能の向上などの人材育成と事業所への定着率を向上させることが最大の課題であ

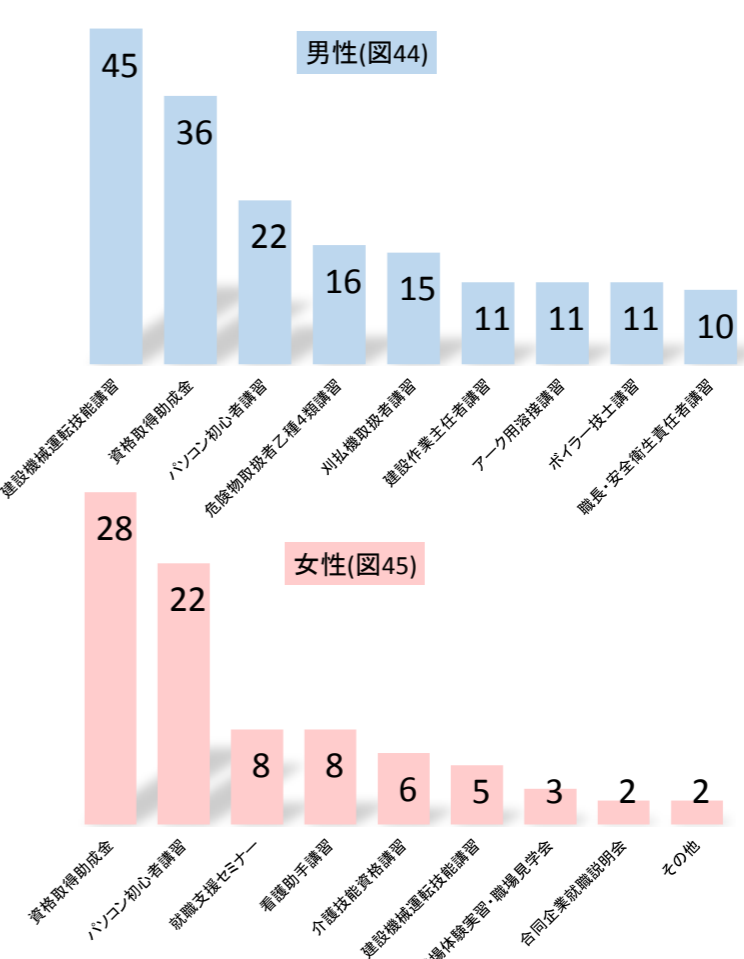
19. 希望する支援事業メニュー【複数回答】(表20～25) ※表の数字は回答実数

性別による希望支援事業上位10講習 (表20)

支援事業/性別	男性	女性	男女計
建設機械運転技能講習	45	5	50
2級施工管理技士講習	9	1	10
資格取得助成金	36	28	64
建設作業主任者講習	11	0	11
就職支援セミナー	8	8	16
刈払機取扱者講習	15	1	16
アーク用溶接講習	11	0	11
職長・安全衛生責任者講習	10	1	11
危険物取扱者乙種4類講習	16	0	16
ボイラー技士講習	11	0	11
パソコン初心者講習	22	22	44
介護技能資格講習	6	6	12
看護助手講習	0	8	8
合同企業就職説明会	7	2	9
職場体験実習・職場見学会	6	3	9
その他	6	2	8
希望支援事業未回答	110	68	178

20. 業種別による希望支援事業上位3講習 (表21)

支援事業/業種	業種計	建設業	ゴルフ場	農林業	※その他	業種不明
建設機械運転技能講習	50	34	8	2	6	0
2級施工管理技士講習	10	9	0	0	1	0
資格取得助成金	64	23	24	7	9	1
建設作業主任者講習	11	8	2	0	1	0
就職支援セミナー	16	4	2	5	5	0
刈払機取扱者講習	16	6	6	1	3	0
アーク用溶接講習	11	10	0	0	1	0
職場体験実習・職場見学会	9	2	0	3	4	0
危険物取扱者乙種4類講習	16	6	8	0	2	0
ボイラー技士講習	11	5	4	0	2	0
パソコン初心者講習	44	9	18	6	11	0
介護技能資格講習	12	3	4	0	5	0
看護助手講習	8	0	7	0	1	0
合同企業就職説明会	9	2	5	1	1	0
職長・安全衛生責任者講習	11	7	2	1	1	0
その他	8	1	4	0	3	0
希望支援事業未回答	178	46	70	26	36	0



男性が希望する支援事業: 男性回答者238人中、128人(53.8%)が支援事業に関心を示した(表20参照)。建設機械運転技能講習に45人(35.2%)が支持をしている。次いで36人(28.1%)が資格取得助成金の利用を希望している。2級施工管理技士講習においては10人が希望すると回答しているが、約4カ月間の講習期間と現場の繁忙期が負担となるため、受講申込みに繋げることは困難な状況にある。

女性が希望する支援事業: 女性回答者122人中、54人(44.3%)が支援事業に関心を示した(表20参照)。資格取得助成金を利用して技能のスキルアップを希望しているが、講習内容が不明である。介護技能資格講習及び看護助手講習の希望者はいるものの、冬期間の就労を優先するため講習の申込に繋がるケースは殆ど無いのが現状である。

21. 年代別による希望支援事業上位3講習 (表22)

支援事業/年代	年代計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	年代不明
建設機械運転技能講習	50	2	5	10	12	10	11	0
2級施工管理技士講習	10	2	3	2	2	1	0	0
資格取得助成金	64	2	13	19	17	7	6	0
建設作業主任者講習	11	1	2	3	2	2	1	0
就職支援セミナー	16	0	3	7	2	2	2	0
刈払機取扱者講習	16	1	0	1	3	4	7	0
アーク用溶接講習	11	0	1	4	3	2	1	0
職長・安全衛生責任者講習	11	0	3	4	1	2	1	0
危険物取扱者乙種4類講習	16	0	0	3	6	3	4	0
ボイラー技士講習	11	0	0	2	5	1	3	0
パソコン初心者講習	44	1	4	13	10	7	9	0
介護技能資格講習	12	1	0	5	3	1	2	0
看護助手講習	8	0	1	3	4	0	0	0
合同企業就職説明会	9	0	1	1	3	2	2	0
職場体験実習・職場見学会	9	0	1	2	3	1	2	0
その他	8	0	0	1	3	1	3	0
支援事業未回答	178	4	6	20	31	34	83	0

指示の高い支援事業は右表(表23)(表24)(表25)のとおりとなった。

22. 支持の高い支援事業/性別 (表23)

性別	1位	2位	3位
男女	資格取得助成金	建設機械運転技能講習	パソコン初心者講習
男性	建設機械運転技能講習	資格取得助成金	パソコン初心者講習
女性	資格取得助成金	パソコン初心者講習	就職支援セミナー、看護助手講習

23. 支持の高い支援事業/業種別 (表24)

業種	1位	2位	3位
建設業	建設機械運転技能講習	資格取得助成金	アーク用溶接講習
ゴルフ場	資格取得助成金	パソコン初心者講習	建設機械運転技能講習
農林業	資格取得助成金	パソコン初心者講習	就職支援セミナー
※その他	パソコン初心者講習	資格取得助成金	建設機械運転技能講習

24. 支持の高い支援事業/年代別 (表25)

年代	1位	2位	3位
20歳代	建設機械運転技能講習	2級施工管理技士講習	資格取得助成金
30歳代	資格取得助成金	建設機械運転技能講習	パソコン初心者講習
40歳代	資格取得助成金	パソコン初心者講習	建設機械運転技能講習
50歳代	資格取得助成金	建設機械運転技能講習	パソコン初心者講習
60～64歳	建設機械運転技能講習	資格取得助成金	パソコン初心者講習
65歳以上	建設機械運転技能講習	パソコン初心者講習	刈払機取扱者講習

年代別による希望支援事業: 20歳代の回答者は、360人中8人と少なく4人が未回答であった(表22参照)。支援事業に関心を示した4名それぞれは建設機械運転技能講習、2級施工管理技士講習、資格取得助成金を希望しており、技能の向上に前向きな姿勢が伺える。平成28年度は新たに刈払機取扱者講習をメニューに加えたところ、16人が希望すると回答し、うち7人が65歳以上であった(表22参照)。この講習は年間の講習実施日が少ないため早期予約形式(12月)をとり3月に3人が受講を修了した。季節労働者にとっては新年度に備えた支援事業となり、更には高齢労働者のスキルアップに繋がる事業になった。